

厳しいノーリツ健保財政

2010年ノーリツ健康保険組合財政状況

経常収入（14.3億円） - 経常支出（17.8億円） = 経常赤字（3.5億円）

この財政悪化の最大の要因は高齢者医療制度への納付金が大幅に増加したことによるものです。

現状では、任意積立金（3.6億円）を取崩して対応しております。

任意積立金は財政黒字であった時の余剰金を積立てたもので、近年赤字が続き任意積立金残額は枯渇状況になりつつあり、2011年からは、保険料率の見直しの検討が必要となっています。

少しでも支出を削減させるため、健保事業の見直しを行うこととなり、3月12日（金）に開催した保険事業検討会議にて、2010年度の保険事業内容が下記の通り決定いたしましたのでご報告いたします。何卒ご理解いただきますようお願い申し上げます。

保健事業について

- 2010年4月1日から適用します。 -

(中止)

1. 育児に関する月刊誌配布の中止
2. プール、海の家、アイススケートの施設利用料補助の中止
3. 契約保養所（JTB、近畿日本ツーリスト及び日本旅行の3社との「契約保養所システム」）利用補助の中止

(変更)

項目	現状	変更
人間ドック費用補助	日帰り13,000円、一泊26,000円の自己負担	12,000円を上限として健保補助
生活習慣病健診	自己負担は0円	12,000円を上限として健保補助
主婦生活習慣病健診	20,000円を上限として健保補助	12,000円を上限として健保補助
子宮がん検診	全額健保補助	5,000円を上限として健保補助
乳がん検診	設定無し	5,000円を上限として健保補助
家庭常備薬の斡旋	2,500円を上限として健保補助	全額自己負担

お断り

2010-2-26付けノアネット記事 人間ドック利用での自己負担額の変更について
にて人間ドック費用補助を20,000円と案内していましたが、保険事業検討会議にて補助を12,000円とすることとされました。